

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	SNS	（ NKT13T ）	
講義名（コード）	SNS	（ NKT13TX ）	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	梶原 優輝	時間数	30
成績評価教員	梶原 優輝	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	SNS等を用いて自分の伝えたい情報を分かりやすく発信できるようにする
全体の内容と概要	自身でテーマを設定したり、決められたテーマに沿って制作した映像をオンラインにアップし分析・考察する
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	映像の活用方法をそれぞれが見出し方針を決める	前期の動画マーケティングのおさらいと後期の方針の確認
2	SNSについて知識を深める	SNSとは
3	映像を制作する目的や方向を考えることに意識を向ける	映像のテーマを考えてみよう
4	メッセージが伝わる映像の組み立て方を考える	映像の構成を考えてみよう
5	決められた段取りに沿って動画を撮影することの重要性を理解する	制作(動画撮影)
6	決められたテーマや伝えたい情報を意識しながら映像を編集する	制作(動画編集)
7	考えた構成通りのものができているか、撮影素材の大切さを理解する	制作(動画編集～書き出し)
8	計画して制作した映像を観て流れを再確認する	発表・講評
9	指定された目的を達成する映像を制作するために企画・スケジュールリングする	映像制作の依頼を受けてみよう
10	撮影に必要な機材やセッティングについて計画する	企画を進行する計画を立てよう
11	時間内に準備～撤収	制作(動画撮影)
12	役割分担する等、グループワークの練習	制作(動画編集)
13	映像をチェックし目的が達成されているか再確認する	制作(動画編集)
14	筆記試験・制作物提出等	期末テスト(制作物提出+映像制作への理解度チェックのための筆記試験)
15	総評	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策 I B		（ NKT13HB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To prepare students to take the official TOEIC test.
全体の内容と概要	Using the textbook to cover all the main areas covered in TOEIC testing for both comprehension and reading. Also, discussion on TOEIC testing techniques.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Knowing office vocabulary, grammar and pronunciation.	At the Office, Unit 1 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
2	Recognizing the main idea in passages.	At the Office, Unit 1 Covering Reading and Mini-Test
3	Knowing travel vocabulary, grammar and pronunciation.	Travel, Unit 2 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
4	Recognizing the main idea in passages.	Travel, Unit 2 Covering Reading and Mini-Test
5	Knowing shopping vocabulary, grammar and pronunciation.	Shopping, Unit 3, Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
6	Learning to skim and scan in reading	Shopping, Unit 3, Covering Reading and Mini-Test
7	Knowing banking vocabulary, grammar and pronunciation.	Banking, Unit 4 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
8	How to make and inference when reading	Banking, Unit 4 Covering Reading and Mini-Test
9	Knowing school vocabulary, grammar and pronunciation.	College Life, Unit 5 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
10	Learning the differences in transition words.	College Life, Unit 5 Covering Reading and Mini-Test
11	Knowing home vocabulary, grammar and pronunciation.	Around the House, Unit 6 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
12	Recognizing misused words in reading.	Around the House, Unit 6 Covering Reading and Mini-Test
13		Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Building TOEIC Skills by Andrea Janzen, Seed Learning Inc.
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策Ⅱ		（ NKT13I ）
講義名（コード）	TOEIC対策ⅡC		（ NKT13IC ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEICに必要な文法を理解し、語彙・Reading・listening力を高め、TOEICに備える
全体の内容と概要	TOEICによく出る語彙・フレーズ・文法・リスニングの練習問題に取り組む
授業時間外の学修	TOEICに必要な語彙を増やす
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	接尾語・接頭辞が理解できる	接尾語・接頭辞を説明した後、unit 5:part5の練習問題
2	unit5 reading の解き方が理解出来る	文法の復習後、unit5:part6/ 7 の練習問題の解き方を説明
3	listeningに慣れる	ディクテーションをし、聴きとれないパートを繰り返し聞く
4	数量詞を学び理解できる	様々な数量詞を紹介した後、unit6:part5の練習問題
5	unit6 reading の解き方を理解できる	文法の復習後、unit 6 :part6/ 7 の練習問題の解き方を説明
6	少し長めの会話を聴きとれる	長めの会話を聞く際に注意する点を学び、誰がどこで何をしたのかを的確に聴きとれるようにする
7	最上級を理解できる	比較級と最上級の違いを理解しunit7: part5の練習問題
8	unit 7reading の解き方と語彙を理解できる	文法復習後、unit 7:part 6/7を解く
9	会話のlisteningに慣れる	ショートトークを集中的に聞く練習
10	分詞の形容詞的役割を理解できる	過去分詞・現在分詞を使った後置修飾の文を理解できるようにする
11	unit8 reading の解き方を理解できる	分詞の復習とunit 8:part 6/7 の練習問題
12	listeningに慣れる	様々な状況での会話を聞く練習
13	テスト対策	復習
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説とまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	VERY EASY TOEIC 2
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策ⅢA		（ NKT23CA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To give students the knowledge, skills, and techniques necessary to succeed on the TOEIC exam.
全体の内容と概要	Textbook work, grammar and vocabulary exercises, and TOEIC practice exams.
授業時間外の学修	Vocabulary and grammar review.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Understand sales vocabulary and gerunds.	Textbook Unit 5. Study sales and marketing vocabulary and the use of gerunds.
2	Understand important information in listening.	Textbook Unit 5. Learn to listen for location, activity, occupations, and people. Mini-Test 5.
3	Understand management vocabulary and infinitives.	Textbook Unit 6. Study office management vocabulary and the use of infinitives.
4	Understand specific information and themes.	Textbook Unit 6. Listening for topic, reasons, and times. Using phrasal verbs. Mini-Test 6.
5	Understand responsibility vocabulary & comparisons.	Textbook Unit 7. Study vocabulary dealing with roles and responsibilities, and the use of comparison.
6	Understand the use of graphics and "for".	Textbook Unit 7. Learn to use graphics during listening activities and the uses of "for". Mini-Test 7.
7	Understand business vocabulary and perfect future tense.	Textbook Unit 8. Study vocabulary dealing with running a business and the perfect future verb form.
8	Understand the use of idioms.	Textbook Unit 8. Learn to listen for idioms and to understand a text. Mini-Test 8.
9	Understand recruiting vocabulary and adverbs.	Textbook Unit 9. Study job hunting vocabulary and adverb clauses of time.
10	Understand conflict language and correct sentences.	Textbook Unit 9. Learn to listen for problems, advice and suggestions and choose correct sentences. Mini-Test 9.
11	Understand trade vocabulary and relative clauses.	Textbook Unit 10. Study stock market vocabulary and the use of relative clauses.
12	Understand the use of numbers and locations.	Textbook Unit 10. Learn to listen to number questions and find correct locations. Mini-Test 10.
13	Final Exam Part One.	TOEIC Listening Exam.
14	Final Exam Part Two.	TOEIC Reading Exam.
15	Feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Barrons TOEIC
参考文献・資料等	Listening audio, practice tests, and reference pages.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webマーケティング基礎Ⅱ		（NKT13S）
講義名（コード）	Webマーケティング基礎ⅡC		（NKT13SC）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	小笠原 あやの	時間数	30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	広告業界実務経験者（WEB、雑誌、書籍デザインなど）	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	デザインの要素を整理し、わかりやすく相手に伝えるための基本的な手法を理解し、実践する。
全体の内容と概要	普段目にすることの多いDTP、WEB広告などを制作しながら、「色」「フォント」「画像」などその要素の役割、効果的な表現を学び、実践していく。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	出席率70%以上を期末試験受験者の対象とし、授業内ワークへの参加態度並びに意欲も評価対象とする。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作
2	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作
3	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告制作
4	コンセプトやターゲットを絞った広告を制作できる	自分のお店の広告・発表
5	マーケティングのための表現を実践し身につけることができる	NBL祭ポスター制作
6	マーケティングのための表現を実践し身につけることができる	NBL祭ポスター制作
7	マーケティングのための表現を実践し身につけることができる	NBL祭ポスター制作
8	実例のデザインに触れ、効果を体験することができる	WEB広告の役割・実際の広告を探そう
9	実例のデザインに触れ、効果を体験することができる	テーマに合わせたWEB広告制作
10	実例のデザインに触れ、効果を体験することができる	テーマに合わせたWEB広告制作
11	ストーリー性のある表現を実践することができる	自国の魅力を表現するスライドショー制作
12	ストーリー性のある表現を実践することができる	自国の魅力を表現するスライドショー制作
13	ストーリー性のある表現を実践することができる	自国の魅力を表現するスライドショー制作
14	期末テスト	自国の魅力を表現するスライドショーの発表
15	フィードバック	テスト内容に関するフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	担当教員は広告業界での実務経験を活かし、クリエイティブ人材の育成と、WEBマーケティングの基礎を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅡ		（NKT13Q）
講義名（コード）	キャリアデザインⅡA		（NKT13QA）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	企業人事関連職歴、新人研修・社員研修業務を担当	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・社会人として必要とされるマナーを習得する。・面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンドラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	内的キャリアと外的キャリアが理解できるようになる	【講義】自分の内的・外的キャリアを考える方法について 【演習】自分の内的・外的キャリアについて記入
4	未来史が作成できるようになる	【講義】死ぬまでにしたいこと、3・5・10・20・30年後の設計 【演習】死ぬまでにしたいこと、未来史の記入
5	気になる業界について調査できるようになる	【講義】業界について、業界の種類、周辺の業界について 【演習】気になる業界や周辺の業界について記入し、発表（2分/人）
6	志望する企業を選択し、分析ができるようになる	【講義】企業を選ぶ6つの視点を知り、志望する企業を選択【演習】志望する企業について、6つの視点で分析し、記入
7	競合他社について理解することができるようになる	【講義】志望する企業の競合を知り、調べる 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
8	志望する企業への志望動機が書けるようになる	【講義】志望動機の記入のポイント 【演習】志望動機の記入
9	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
10	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
11	面接の基本が理解できるようになる	【講義】面接の基本、マナー 【演習】学生同士で練習/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】実際にあった面接の質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【演習】質問例を活用し、学生同士で面接の練習/個別面談
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員は新人研修、社員研修業務経験を活かして講義を行い、職業人生、キャリアについて学生自らが主体的になって構想・実現していくことを指導する。

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅡ		（NKT13Q）
講義名（コード）	キャリアデザインⅡH		（NKT13QH）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	企業人事関連職歴、新人研修・社員研修業務を担当	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・社会人として必要とされるマナーを習得する。・面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・ 志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンドラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	自分のスキルについて、文章にすることができるようになる	【講義】好きなこと、できること、得意なことを考える。資格について考える。 【演習】自分のスキルについて記入
4	志望する業界・企業を選択し、調査ができるようになる	【講義】企業研究の進め方、業界・業種と職種 【演習】志望する業界・企業について記入
5	競合他社について理解し、調査ができるようになる	【講義】競合他社とは 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
6	志望動機が記入できるようになる	【講義】志望動機 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
7	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
8	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
9	面接の基本を理解することができるようになる	【講義】面接の種類と心構え、面接官の視点、身だしなみ、言葉遣い、 【演習】好印象を与える話し方の練習/個別面談
10	面接の流れを理解することができる	【講義】個人面接、集団面接の流れと対策、オンライン面接について 【演習】学生同士で練習/個別面談
11	実際の面接で聞かれる質問に備えることができるようになる	【講義】実際にあった面接質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック、まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本能率協会マネジメントセンター「専門学校生のための就職内定 基本テキスト
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員は新人研修、社員研修業務経験を活かして講義を行い、職業人生、キャリアについて学生自らが主体的になって構想・実現していくことを指導する。

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	スピーチ&プレゼンテーションⅡ		（ NGB13B ）
講義名（コード）	スピーチ&プレゼンテーションⅡA		（ NGB13BA ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	堀内 美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内 美穂	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	パワーポイントを使いながら人前で自分の意見を発表する事ができる。見ている人がわかりやすいビジュアルツールを作成しプレゼンテーションを行う。様々な場面のビジネスシーンで役立てることができる。
全体の内容と概要	作成したPPTを使用し何度もプレゼンテーション練習を行う。PPTを作成する事だけでなく、正しい日本語を使って分かりやすい説明を行えるように話し方の練習もする。
授業時間外の学修	授業内だけでは発表準備が間に合わないため、家での練習も必要になる。
履修上の注意事項等	卒業発表の準備をするクラスですが、発表が目的ではなく将来自分の身になるスキルを身に付ける事が大切。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	プレゼンテーションとは何かがわかる	プレゼンテーションと何か。どんな場面でどのように使用するのか。例を見ながら正しいプレゼンテーションの方法を学ぶ。
2	プレゼンテーションをする前の準備の方法がわかる。	プレゼンテーション作成のステップ、注意する事などを学ぶ。PPTの使い方を学ぶ。
3	簡単なPPTを作成することができる。	写真を使った自己紹介PPTを作成する。
4	写真を使ったプレゼンができる。	PPTを使って自己紹介をする。
5	マーケティング（プロモーション）目線でのプレゼンとは何かがわかる。	通信販売のプロモーションの方法とは何か。いくつかの動画を見て方法を見比べてみる。
6	マーケティング（プロモーション）目線でのプレゼンができる。	身近な商品を使ってプロモーションをしてみる。
7	マーケティング（プロモーション）目線でのプレゼンができる。	PPTを使って顧客を獲得する新商品のプロモーションを考える。
8	マーケティング（プロモーション）目線でのプレゼンができる。	新商品のプロモーションを発表する。
9	マーケティング（プロモーション）目線でのプレゼンができる。	新商品のプロモーションを発表する。
10	グラフの作成ができる。	簡単なデータをもとに違う種類のグラフを作成する。
11	国際問題についての現状を理解することができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
12	国際問題についての現状を理解することができる。	問題についてのデータを検索し、グラフ等を使ってわかりやすくPPTにまとめる。自分の意見を交えた問題の解決法を考える。
13	国際問題についてPPTを使い発表を行うことができる。	作成したPPTを使い発表練習を行う。
14	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 クラスメートからの評価をもらう。
15	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 クラスメートからの評価をもらう。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2024年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコンピューティングⅡ		（NKT13M）
講義名（コード）	ビジネスコンピューティングⅡA		（NKT13MA）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター（株）、東京精電（株）歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	表計算ソフトExcelの基本操作・機能を習得し、実務への活用方法を学習する
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 検定試験を目標に、操作・知識を学習していく
授業時間外の学修	操作環境がない生徒がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、文字変換、数式の入力など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	1年生後半～2年生前期に資格試験対策（MOS・日商PC検定）中心の授業内容になりますが 資格取得の意欲のある生徒には、資格試験の練習もおこなっていきます

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Excelの基本操作を覚える 合計・平均の計算ができる	Excelの基本 表の作成方法・計算式の入力（合計・平均）
2	関数（オートSUMボタン）の 操作ができる	オートSUMボタンの関数（SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MIN）学習
3	Excelで作成できるようになる	作成した表よりグラフ作成
4	RANK.EQ関数で順位づけができる	順位づけ（RANK.EQ関数） Fxボタンよりの関数の挿入・検索の仕方 相対参照と絶対参照のちがいと切り替え方法
5	ROUND・UP・DOWN関数で 端数処理の意味を理解できる	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数のちがいと桁数の設定
6	条件判定と比較演算子の意味を 理解できる	IF関数① IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方
7	関数のネスト方法を理解できる	IF関数② 3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法
8	VLOOKUP関数を活用した 効率的な処理方法を理解できる	VLOOKUP関数① VLOOKUP関数の構造と使用方法
9	表検索入力の方法を理解できる	VLOOKUP関数② VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい
10	並べ替えとフィルター データの検索と抽出を理解できる	並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出
11	復習（学習した機能を活用して 総合問題が解けるようになる）	テスト前練習問題（関数復習）
12	復習（学習した機能を活用して 総合問題が解けるようになる）	テスト前練習問題（データベース復習）
13	復習（学習した機能を活用して 総合問題が解けるようになる）	テスト前練習問題（総合問題）
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスター Word&Excel2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	レベルに応じた資格試験の練習問題 担当教員はIT業界での実務経験を活かし、Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅡ		（NKT14I）
講義名（コード）	ビジネスマナーⅡA		（NKT14IA）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	岩岡 夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡 夏子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネスにおける基本的なマナーを習得し、自分の意思をうまく伝え、円滑なコミュニケーションが取れることを目的とする
全体の内容と概要	さまざまな状況に応じたマナーを学び、実践に生かす
授業時間外の学修	アルバイト先などでの実践練習
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション/「社内のマナー」が理解できる①	【講義】後期で習得すること、話を聞くととき、指示を受けるとき 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
2	「社内のマナー」が理解できる②	【講義】注意を受けたとき、退社時のマナー 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
3	「社内のマナー」が理解できる③	【講義】葬儀のマナー、贈答のマナー 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
4	「社内のマナー」が理解できる④	【講義】食事のマナー、お酒の席のマナー、コラム（たばこのルールとマナー） 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
5	「社外のマナー」が理解できる①	【講義】名刺の扱い方、仕事に役立つ雑談 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
6	「社外のマナー」が理解できる②	【講義】場所ごとの席次、案内と見送り 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
7	「社外のマナー」が理解できる③	【講義】お茶の出し方と飲み方、訪問のマナー 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
8	「社外のマナー」が理解できる④	【講義】営業活動、派遣・出向 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
9	ビジネススキルの基本を理解できる①	【講義】敬語の使い方、話し言葉と書き言葉 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
10	ビジネススキルの基本を理解できる②	【講義】漢字の使い方、ビジネスメールの形式 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
11	ビジネススキルの基本を理解できる③	【講義】ビジネス文書の形式、はがきと封筒の使い方・書き方 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
12	ビジネススキルの基本を理解できる④	【講義】電話を受けるとき、電話をかけるとき 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
13	後期に学んで理解したことをアウトプットできる	社内のマナー、社外のマナー、ビジネススキルの基本から各自学んだことを他者にアウトプットする。
14	前期末テスト	【前期末試験】前期に習得した内容についての筆記試験
15	フィードバック、まとめ	【前期試験フィードバック】テスト結果をフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	JMAM 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール
参考文献・資料等	
備考	適宜、理解を深めるためのパワーポイント資料を用意

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語 I Business English		（ NKT13D ）
講義名（コード）	ビジネス英語 I B		（ NKT13DB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn how to communicate in a business setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about business, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Go over syllabus, discover English ability. First meeting communication	Orientation and introduction. English for Socialization: Chapter 4, Part 1
2	Learning to talk about personal lifestyle	Ability to talk about personal life: English for Socialization: Chapter 4, Part 5
3	Learn how to make a phone call	Learning English for the telephone: English for Socialization: Chapter 1, Part 1
4	Learn to organize your topics to discuss	Topic organization: English for Socialization: Chapter 1, Part 6
5	Learn to put together a good business letter	Writing for Business,: English for Socialization: Chapter 6, Part 1
6	Learning about write in business	Correspondence phrases for different situations: English for Socialization: Chapter 6, Part 4
7	Learning correct phrases in different situations	Writing Model Letters: English for Socialization: Chapter 6, Part 5
8	Learning good meeting habits	What makes a good meeting: English for Socialization: Chapter 3, Part 1
9	Using business meeting terms correctly	Meetings and key terms that are used: English for Socialization: Chapter 3, Part 2
10	Learning proper phrases in a discussion in a meeting	Opinions in meetings: English for Socialization: Chapter 3, Part 4
11	Understanding a good presentation	Steps for giving a good presentation: English for Socialization: Chapter 2, Part 1
12	Preparing a presentation for your listeners	Organizing a presentaton: English for Socialization: Chapter 2, Part 2
13	Understanding a successful negotiation	Negotiations: English for Socialization: Chapter 5, Part 1 and Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Communicating in Business English, Compass Publishing
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語 I		（ NKT13D ）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅢA		（ NKT22IA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To better understand business language and concepts.
全体の内容と概要	Textbook work, group and individual projects.
授業時間外の学修	Research and composition for projects and writing assignments.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Can discuss documents and correspondence	Textbook Unit 5. Roleplay conversations about documents, correspondences, deadlines, and responsibilities.
2	Can use past simple language.	Textbook Unit 5. Use past simple language to discuss current and recent activities.
3	Can solve problems and communicate apologies.	Textbook Unit 5. Roleplay discussions of problems, solutions, and apologies.
4	Can discuss social media and networking.	Textbook Unit 6. Class discussion about the relationship between social media and business in today's world.
5	Can describe past events.	Textbook Unit 6. Writing descriptions of past activities and experiences.
6	Can handle small talk and conversations.	Textbook Unit 6. Large group conversation activity.
7	Can discuss departments and responsibilities.	Textbook Unit 7. Group project, company structure and organization.
8	Can describe position of place and movement.	Textbook Unit 7. Giving directions in conversation and email.
9	Can leave phone messages.	Textbook Unit 7. Practice leaving phone messages.
10	Can discuss employment.	Textbook Unit 8. Couple discussions about future employment plans.
11	Can communicate time.	Textbook Unit 8. Practice communicating and keeping schedules.
12	Can arrange meetings and events.	Textbook Unit 8. Group meeting project.
13	Exam prep.	Final exam preparation and review.
14	Final exam.	Final exam.
15	Exam feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	Textbook, project materials.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語Ⅱ		（NKT13E）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅣC		（NKT22JC）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスシーンで使える英語を身につける。
全体の内容と概要	リスニング、スピーキング、ライティングの練習を中心にコミュニケーション能力向上を図る。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズの復習をし、会話文の音読練習をする。
履修上の注意事項等	クラスアクティビティに積極的に参加することが求められます。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	【海外出張】ホテルでのやり取りができるようになる	ホテルでのやり取りをペアで練習する。
2	【海外出張】レストランで注文ができるようになる	レストランでの注文の仕方をペアで練習する。
3	【海外出張】交通機関の利用・食事の買い出し等ができるようになる	交通機関の利用・食事の買い出し等の仕方をペアで練習する。
4	1～3回目 【海外出張】 の復習	様々な場面を想定して練習する。
5	【打ち合わせ】商談を行えるようになる	商談の仕方をペアで練習する。
6	【打ち合わせ】お客様の予約を取れるようになる	お客様の予約の取り方をペアで練習する。
7	同僚とスモールトークすることができるようになる	同僚とスモールトークできるように練習する。
8	5～7回目の復習	様々な場面を想定して練習する。
9	ビジネスメールへの応答ができるようになる	ビジネスメールの書き方を学ぶ。
10	Eメールの作成と返信ができるようになる	ビジネスメールの書き方を学ぶ。
11	同僚へのもてなしができるようになる	同僚のもてなし方をペアで練習する。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Business as Usual
参考文献・資料等	英会話フレーズ大特訓ビジネス編、ゼロからスタートしごとの英会話、本当に必要な社内英語
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス日本語Ⅱ		（NKT14C）
講義名（コード）	ビジネス日本語ⅡA		（NKT14CA）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	田中 清夫	時間数	30
成績評価教員	田中 清夫	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	基本的なビジネスの場面で、敬語を使って会話ができる。
全体の内容と概要	ビジネスの場面に合わせた語彙の意味を説明できる。ビジネスの場面で会話を流暢にできる。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	ロールプレーやグループ学習に積極的に参加することを期待。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	注意をされた時にあやまることができる	第4課の語彙を覚える。あやまる時の表現を使えるようになる。
2	苦情を聞いて対応ができる	ロールプレーを通じて、ビジネス上の苦情や間違いの訂正依頼への対応を習得する。丁寧に説明することができるようになる。
3	注意を受けたり、苦情を受けたりした時に対応ができる	ロールプレーにより、注意をされたり、苦情を受けた時の対応ができるようになる
4	仕事や、業務を他の人に依頼することができる。依頼を丁寧に断れる。	第5課の語彙を覚える。依頼する時の表現を使えるようになる。
5	他人からの依頼を聞いて対応できる	ロールプレーを通じて、ビジネス上の依頼方法と対応方法を習得する。丁寧に依頼し断ることができるようになる。
6	依頼する場合と依頼される場合にそれぞれ対応ができる	ロールプレーを通じて、依頼する人依頼される人の表現ができるようになる。
7	仕事上で許可をもらうことができる	第6課の語彙を覚える。許可をもらう時の表現を使えるようになる
8	色々な相手から許可をもらうことができる。	ロールプレーを通じて、ビジネスで許可をもらう表現を使うことができる。相手に応じて許可をもらうようになる。
9	仕事上のアポイント取得ができる	第7課の語彙を覚える。アポイントを取る時の表現を使えるようになる。
10	色々な場面でアポイントを取ることができる	ロールプレーを通じてビジネスでアポイントを取る表現を使うことができる。相手に応じてアポイントを取れるようになる。
11	仕事で訪問して話ができる	第8課の語彙を覚える。訪問した時の表現が使えるようになる
12	訪問した時の色々な場面での話ができる	ロールプレーを通じて、ビジネスで訪問した時の話の表現を使うことができる。相手に応じた話し方ができるようになる。
13	典型的な商談ができる	ロールプレーを通じて、典型的な商談に必要な表現を使えるようになる。
14	総括とテスト	ビジネス日本語の授業全体の総括をする
15	フィードバック	テスト結果を説明する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ビジネス日本語30時間
参考文献・資料等	必要に応じて都度配布
備考	なし